



ひまわりぐみだよ

2019年 1月 第4号

あけましておめでとうございます

新しい年を迎えましたが、残すところ3ヶ月となったひまわりぐみでの生活に寂しさも感じます。元気いっぱいな子ども達と一緒に、今年も楽しく健康に過ごしていきたいと思えます。

クリスマス会頑張ったね!



先月のクリスマス会では、一人ひとりが自分の力を発揮することが出来ました。素敵な姿をお見せ出来たことを嬉しく感じます。練習中のかわいいエピソードがありますので、2つご紹介します。

1つ目は、歌の練習後のこと。「そうだったらいいのにな」の歌詞の中に、「♪サンタクロース捕まえて家だけ毎晩クリスマス」というフレーズがあります。素直に羨ましいと感じたようで、「本当にそうだったらいいのにな！いっぱいプレゼントもらえるし、ケーキも毎日だよ」と子ども達。「プレゼントは、あれとあれと…」と思いつかずにいる姿に、思わず笑ってしまいました。

2つ目は、お遊戯の衣装を初めて着て練習した日。「先生～」と小さな声で呼ばれ、「どうしたの？」と尋ねると、恥ずかしそうに笑いながら、「あのね、はっぴ着るとかっこいいって女の子達に言われちゃった」と教えてくれました。照れながら話すところが可愛らしいなと感じました。

子ども達のふとした会話や姿に心温まりました。

わざとじゃないけれど…

子ども達に読んだ絵本のストーリーで、『わざとではないけれど、お友達にぶつかってしまった』というのがありました。「この子ね、わざとじゃないんだって。こういう時はどうしたらいいかな？」と子ども達に問いかけてみると、「ごめんねする！だって間違えちゃったんだもん」と口々に答えました。以前から、日々の生活の中で同じような場面をよく見かけ、「〇〇くん（ちゃん）がぶつかった」と話す子が多かったのですが、子ども達に「わざとじゃなくても、ごめんねしようね」と伝えるようにしていました。

繰り返し伝えていくことで、子ども達同士で謝ることが少しずつ出来るようになり、成長を感じています。また、絵本を通すことで、話すよりも分かりやすく、子ども達自身が自分に置き換えて考えることが出来るのだなと実感しました。これからも、絵本などを通して思いやりの気持ちを育てていきたいと思えます。

また明日やろうね★



最近、おもちゃや絵本の片付けの時間になると「また明日やろうね」や「また明日続き読もうね」という言葉を耳にするようになりました。子ども達から自然と出てきた言葉に嬉しさを感じ、「その言葉とっても素敵だね！」と褒めると、「お片付けなんかやだ～」と言っていた子どもいつの間にかおもちゃを拾い出していたり、「分かった。明日続き作ろう」と言い始めました。

『片付けだから終わりね』と遊びを中断するのではなく、『また明日やろうね』と伝えたほうが、明日への楽しみを増やすことにも繋がると学びました。プラスに働くような声の掛け方を心がけ、子ども達の自主性を尊重していきたいです。

